

第3節 大阪湾の汚濁状況

大阪湾の水質及び底質の状況については、昭和47年度から継続して15測定地点において水質調査を実施し、併せて9測定地点で底質調査を実施してきた。昭和55年度からは、さらに大阪市地先海域の準基準点6地点を追加し、水質調査を実施した（図2-2-10）。

また、昭和56年度からは、環境基準点のうち港内3測定地点を除く12測定地点において、水深に応じた底層の水質調査を実施した。

第1 水質汚濁の状況

1 環境基準の適合状況

健康項目については、すべての測定地点で環境基準を達成している。

生活環境項目については、海域の代表的な汚濁指標である化学的酸素要求量（COD）の海域別平均値をみると、A海域2.3 ppm、B海域3.7 ppm及びC海域（港内3地点を除く）4.1 ppmとなっており、ここ数年は上昇の傾向を示していたが、今年度は前年度に比べて低い値になっている（図2-2-11）。

また、類型別に環境基準値を超えた検体数（m）の調査対象検体数（n）に対する割合（m/n）をみると、C海域については、前年度と同じ値であり、A海域及びB海域については前年度より低い値になっている（表2-2-17及び表2-2-18）。

その経月変化をみると、春期から秋期にかけて高く、冬期において低くなる傾向にあり、プランクトンの出現数の変動をみても同様な傾向にあるところからプランクトンが大きく影響しているものと考えられる（図2-2-12）。

更に、湾内における濃度分布は湾奥部ほど高くなる傾向を示している（図2-2-13）。

なお、CODについて表層と底層の平均値をみると、A海域2.0 ppm、B海域2.8 ppm及びC海域（港内3地点を除く）3.1 ppmとなった。

2 富栄養化の状況

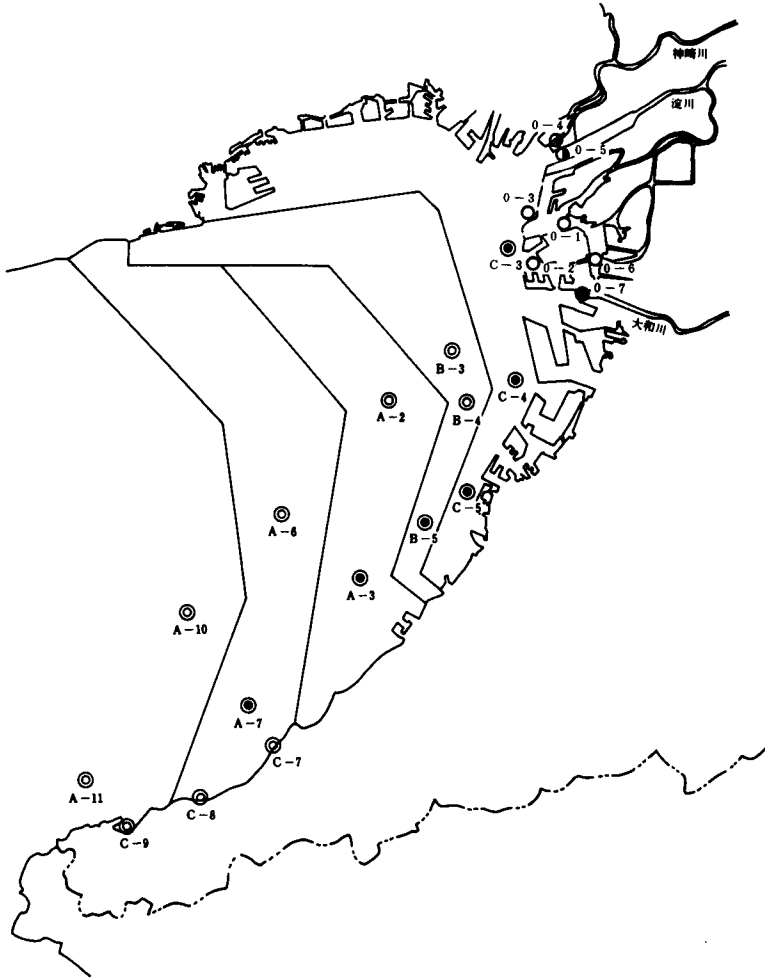
環境管理計画に定められている特殊項目の測定結果は、表2-2-19のとおりであるが、その中で富栄養化の要因物質とされている窒素、リンの平均値をみるとA海域では総窒素（T-N）0.47 ppm、総リン（T-P）0.05 ppm、B海域では同じく0.82 ppm、0.08 ppm、C海域（港内3地点を除く）では1.1 ppm、0.13 ppmとなっており、前年度と比較するとすべての海域で高い値になっているが、ここ数年は横ば

いの傾向を示している（図2-2-14及び図2-2-15）。その濃度分布は湾奥部ほど高くなる傾向を示している（図2-2-13）。

また、富栄養化の程度を表わす指標とされている透明度及びクロロフィルaの分布についても窒素、リンと同様の傾向がみられる（図2-2-13）。

大阪湾における赤潮の発生は、昭和56年は38件が確認されており春から夏にかけて発生件数が増えている（表2-2-20）。

図 2-2-10 大阪湾の測定地点図



(注) ●は環境基準点 (底質測定を含む)、○は環境基準点 (底質測定を含まず)、●は底質測定点、●は準基準点 (底質測定を含む)、○は準基準点 (底質測定を含まず)を示す。

表 2-2-17 大阪湾の化学的酸素要求量(COD)の環境基準値を超えた割合(表層)

年度	昭和48			53			54			55			56		
	調査対象検体数 (n)	環境基準を超えた検体数 (m)	割合 (m/n) %	調査対象検体数 (n)	環境基準を超えた検体数 (m)	割合 (m/n) %	調査対象検体数 (n)	環境基準を超えた検体数 (m)	割合 (m/n) %	調査対象検体数 (n)	環境基準を超えた検体数 (m)	割合 (m/n) %	調査対象検体数 (n)	環境基準を超えた検体数 (m)	割合 (m/n) %
A	72	55	76.4	72	44	61.1	72	56	77.8	72	56	77.8	72	34	47.2
B	36	30	83.3	36	19	52.8	36	20	55.6	36	23	63.9	36	15	41.7
C	48	6	12.5	72	3	4.2	72	1	1.4	144	3	2.1	144	3	2.1
合計	156	91	58.3	180	66	36.7	180	77	42.8	252	82	32.5	252	52	20.6

表 2-2-18 大阪湾水質調査結果 (昭和56年度)

測定地点			環境基準海域類型	生活環境項目														
				水素イオン濃度 [pH]		化学的酸素要求量 [COD]			溶存酸素量 [DO]			大腸菌群数 [Coli-G] (MPN/100ml)			ノルマルヘキササン抽出物質 [Oil]			
				最小~最大	平均	最小~最大	平均	最小~最大	平均	最小~最大	平均	最小~最大	平均	最小~最大	平均			
C-3	E 135° 23' 15" N 34° 37' 46"	表層	C	8.0 ~8.8	2.5 ~14	4.8	5.9 ~11	8.5										
		底層		8.0 ~8.6	1.6 ~3.4	2.3	1.5 ~8.8	5.9	—	—	—	ND ~ND	ND	×				
		平均		8.0 ~8.8	2.2 ~8.0	3.5	5.2 ~8.8	7.2										
C-4	E 135° 23' 42" N 34° 33' 30"	表層		8.2 ~9.3	1.8 ~7.8	4.0	5.6 ~16	10										
		底層		8.2 ~8.6	0.9 ~3.6	2.2	3.4 ~9.3	6.8	—	—	—	ND ~ND	ND	×				
		平均		8.2 ~9.3	1.3 ~5.2	3.1	6.2 ~9.7	8.4										
C-5	E 135° 21' 48" N 34° 29' 30"	表層		8.2 ~9.3	1.3 ~8.2	3.5	5.8 ~15	9.6										
		底層		8.1 ~8.5	1.3 ~2.5	1.8	2.0 ~9.7	6.3	—	—	—	ND ~ND	ND	×				
		平均		8.1 ~9.3	1.3 ~4.9	2.7	5.1 ~9.5	7.9										
B-3	E 135° 21' 06" N 34° 35' 00"	表層	8.2 ~9.2	1.9 ~8.5	4.0	6.3 ~15	10											
		底層	8.2 ~8.7	1.0 ~3.2	1.9	4.8 ~9.6	7.1	—	—	—	ND ~ND	ND	%					
		平均	8.2 ~9.2	1.9 ~5.2	2.9	5.7 ~10	8.5											
B-4	E 135° 21' 18" N 34° 31' 36"	表層	8.2 ~9.3	1.6 ~8.1	4.0	6.2 ~14	10											
		底層	8.2 ~8.6	1.2 ~2.7	1.9	1.3 ~9.7	6.4	—	—	—	ND ~ND	ND	%					
		平均	8.2 ~9.3	1.5 ~5.0	3.0	6.6 ~9.8	8.2											
B-5	E 135° 19' 00" N 34° 27' 48"	表層	8.3 ~9.2	1.5 ~7.0	3.0	5.6 ~13	9.3											
		底層	8.2 ~8.7	1.2 ~2.9	1.9	5.0 ~10	7.2	—	—	—	ND ~ND	ND	%					
		平均	8.2 ~9.2	1.5 ~4.4	2.5	6.0 ~10	8.3											

(単位: ppm)

健康項目															
カドミウム [Cd]		シアン [CN]		有機リン [Or-P]		鉛 [Pb]		クロム(6価) [Cr ⁶⁺]		ヒ素 [As]		総水銀 [T-Hg]		P C B	
最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm
<0.005	ppm	ND	ppm	ND	ppm	<0.05	ppm	<0.02	ppm	<0.02	ppm	<0.0005	ppm	ND	ppm
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇

測定地点			環境基準海域類型													生活環境項目												
			水素イオン濃度 [pH]			化学的酸素要求量 [COD]			溶存酸素量 [DO]			大腸菌群数 [Coli-G] (MPN/100ml)			ノルマルヘキサノ抽出物質 [OH]													
			最小~最大	平均	標準偏差	最小~最大	平均	標準偏差	最小~最大	平均	標準偏差	最小~最大	平均	標準偏差	最小~最大	平均	標準偏差											
A-2	E 135°18'24" N 34°31'42"	表層	8.2 ~9.0	8.2	0.2	1.5 ~5.4	3.2	0.2	5.7 ~12	9.3	0.2	2.0 ~ 7.9×10 ³	1.3 × 10 ²	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.1 ~8.6	8.1	0.2	1.0 ~1.9	1.6	0.2	4.9 ~9.6	7.2	0.2																	
		平均	8.1 ~9.0	8.1	0.2	1.4 ~3.6	2.4	0.2	5.7 ~9.8	8.3	0.2																	
A-3	E 135°17'24" N 34°25'48"	表層	8.2 ~9.0	8.2	0.2	1.5 ~6.0	2.9	0.2	5.7 ~13	9.1	0.2	2.0 ~ 1.3×10 ³	1.7 × 10 ²	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.2 ~8.6	8.2	0.2	1.3 ~2.4	1.8	0.2	1.6 ~9.7	6.9	0.2																	
		平均	8.2 ~9.0	8.2	0.2	1.5 ~3.8	2.3	0.2	5.3 ~9.8	8.0	0.2																	
A-6	E 135°14'30" N 34°28'18"	表層	8.3 ~8.8	8.3	0.2	1.2 ~3.3	2.2	0.2	6.2 ~10	8.4	0.2	2.0 ~ 2.3×10 ³	6.9	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.3 ~8.7	8.3	0.2	1.1 ~2.3	1.7	0.2	6.0 ~9.3	7.9	0.2																	
		平均	8.3 ~8.8	8.3	0.2	1.3 ~2.6	1.9	0.2	6.3 ~9.5	8.1	0.2																	
A-7	E 135°13'00" N 34°22'24"	表層	8.3 ~8.7	8.3	0.2	1.4 ~3.9	2.1	0.2	5.2 ~11	8.2	0.2	2.0 ~ 4.9×10 ³	4.4 × 10	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.2 ~8.6	8.2	0.2	1.5 ~2.6	1.8	0.2	4.8 ~9.4	7.3	0.2																	
		平均	8.2 ~8.7	8.2	0.2	1.5 ~2.5	1.9	0.2	6.1 ~9.5	7.8	0.2																	
A-10	E 135°10'30" N 34°25'24"	表層	8.3 ~8.7	8.3	0.2	1.2 ~2.2	1.8	0.2	6.1 ~10	8.3	0.2	2.0 ~ 1.7×10 ³	3.1 × 10	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.2 ~8.6	8.2	0.2	1.1 ~1.9	1.4	0.2	4.2 ~9.2	7.4	0.2																	
		平均	8.2 ~8.7	8.2	0.2	1.4 ~1.8	1.6	0.2	6.2 ~9.3	7.8	0.2																	
A-11	E 135°06'48" N 34°20'18"	表層	8.3 ~8.7	8.3	0.2	1.1 ~3.5	1.8	0.2	5.6 ~9.6	7.9	0.2	2.0 ~ 8.0	3.9	%	ND ~ND	ND	%											
		底層	8.2 ~8.6	8.2	0.2	1.0 ~2.8	1.5	0.2	3.9 ~9.4	7.2	0.2																	
		平均	8.3 ~8.7	8.3	0.2	1.1 ~2.6	1.6	0.2	5.4 ~9.3	7.6	0.2																	

(単位：ppm)

健康項目															
カドミウム [Cd]		シアン [CN]		有機リン [Or-P]		鉛 [Pb]		クロム(6価) [Cr ⁶⁺]		ヒ素 [As]		総水銀 [T-Hg]		P C B	
最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm	最大	ppm
<0.005	ppm	ND	ppm	ND	ppm	<0.05	ppm	<0.02	ppm	<0.02	ppm	<0.0005	ppm	ND	ppm
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇

測定地点			生活環境項目															
			環境基準 海域 類型		水素イオン濃度 (pH)		化学的酸素要求量 (COD)			溶存酸素量 (DO)			大腸菌群数 (Coli-G) (MPN/100ml)			ノルマルヘキサ ン抽出物質 (Oil)		
			最小	最大	最小	最大	平均	％	最小	最大	平均	％	最小	最大	平均	％	最小	最大
C-7	尾崎港内	表層	C	8.2 ~8.7	％	1.3 ~6.0	2.6	％	2.9 ~10	7.5	％	—	—	—	ND ~ND	ND	％	
C-8	淡輪港内	表層	C	8.3 ~8.7	％	1.6 ~4.2	2.1	％	5.8 ~11	8.3	％	—	—	—	ND ~ND	ND	％	
C-9	深日港内	表層	C	8.2 ~8.5	％	1.3 ~4.7	1.9	％	3.8 ~9.4	6.8	％	—	—	—	ND ~ND	ND	％	
O-1	No.5 ブイ跡	表層	C	7.4 ~8.4	％	2.7 ~8.1	4.8	％	4.5 ~9.7	7.5	％	2.4×10 ³ ~ 1.6×10 ⁴	3.0 × 10 ⁴	％	ND ~2.0	1.3	％	
O-2	南港	表層	C	7.6 ~8.3	％	3.2 ~5.8	4.4	％	4.6 ~9.1	6.7	％	7.9×10 ² ~ 2.4×10 ³	2.5 × 10 ⁴	％	ND ~1.5	1.0	％	
O-3	大阪港外 関門	表層	C	7.7 ~8.8	％	2.4 ~7.8	4.4	％	6.0 ~10	8.2	％	2.3×10 ² ~ 1.3×10 ⁴	4.4 × 10 ³	％	ND ~ND	ND	％	
O-4	神崎川 河口中央	表層	C	7.3 ~8.2	％	3.3 ~7.5	5.2	％	3.7 ~10	6.5	％	2.3×10 ³ ~ 1.7×10 ⁴	3.5 × 10 ⁴	％	ND ~ND	ND	％	
O-5	淀川 河口中央	表層	C	7.4 ~8.8	％	2.8 ~7.4	4.9	％	4.7 ~11	8.2	％	3.5×10 ³ ~ 5.4×10 ⁴	1.5 × 10 ⁴	％	ND ~ND	ND	％	
O-6	木津川 河口中央	表層	C	7.3 ~8.1	％	3.2 ~7.7	5.5	％	3.9 ~8.4	6.0	％	4.9×10 ³ ~ 2.4×10 ⁴	5.0 × 10 ⁴	％	ND ~1.5	1.0	％	

- (注) 1 表層とは、海面下1m層をいう。また、底層とは水深20m未満の場合は海底面上2m層を、水深20m以上の場合は海底面上5m層をいう。
- 2 大腸菌群数及びノルマルヘキササン抽出物質並びに健康項目については、表層の採水結果である。
- 3 測定地点の平均の欄は、pHについては表層及び底層の測定値の集計を示し、COD及びDOについては測定日ごとのデータを平均した値の集計を示す。

(単位: ppm)

健 康 項 目															
カドミウム [Cd]		シ ア ン [CN]		有 機 リ ン [Or-P]		鉛 [Pb]		クロム(6価) [Cr ⁶⁺]		ヒ 素 [As]		総 水 銀 [T-Hg]		P C B	
最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg	最 大	μg
<0.005	%	ND	%	ND	%	<0.05	%	<0.02	%	<0.02	%	<0.0005	%	ND	%
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—
◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—
◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—
◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—

図 2-2-11 大阪湾のCOD経年変化 (年度平均値)

(環境基準点12地点の表層の値の平均 (C-7、C-8、C-9を除く))

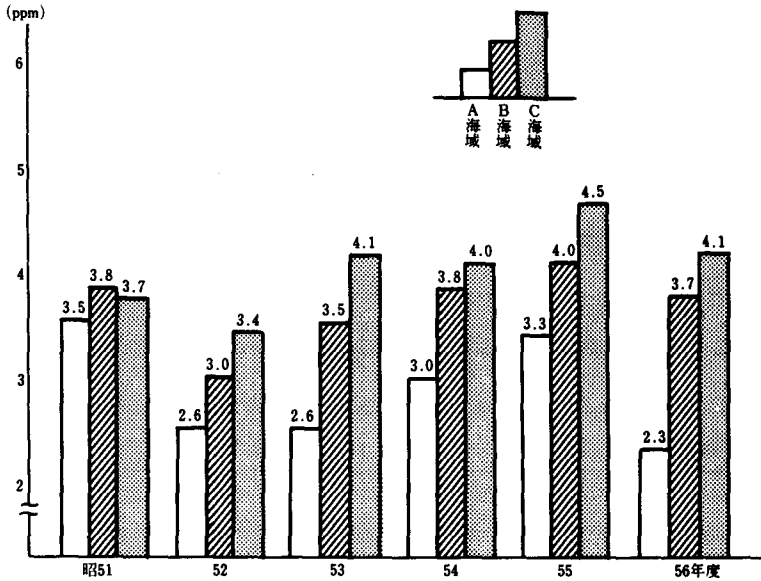
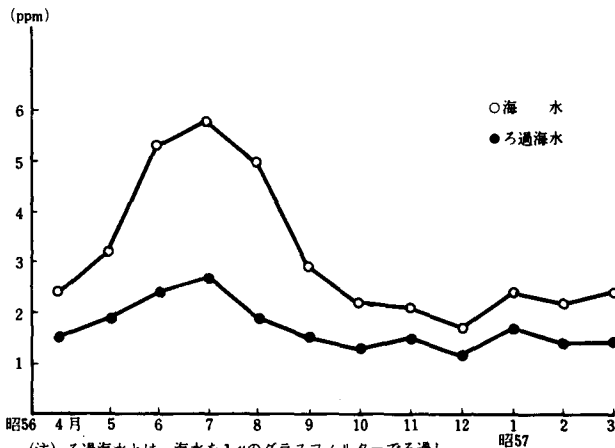


図 2-2-12 大阪湾のCOD経月変化 (昭和56年度)

(環境基準点12地点の表層の値の平均 (C-7、C-8、C-9を除く))



(注) ろ過海水とは、海水を1μのガラスフィルターでろ過し、プランクトン等の固形物を除去したものである。

図 2-2-13 大阪湾のCOD等の湾内分布 (昭和56年度平均値)

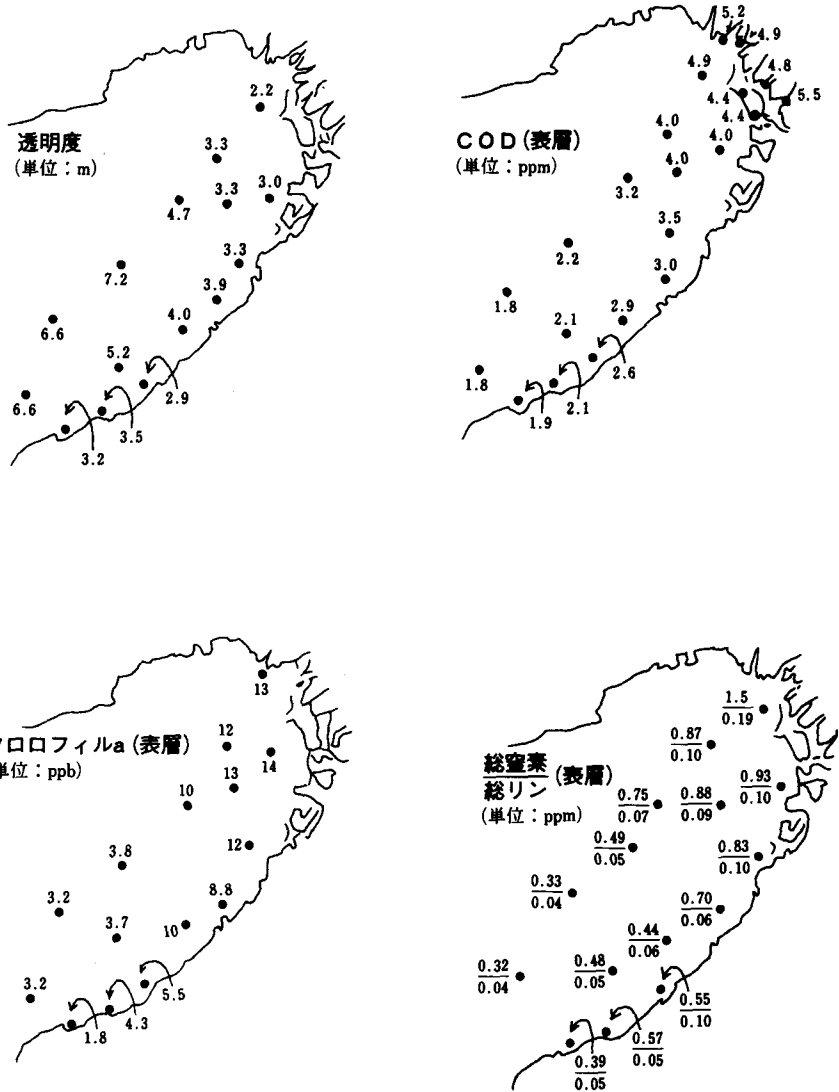


図 2-2-14 大阪湾の総リン経年変化 (年度平均値)

(環境基準点12地点の表層の値の平均 (C-7、C-8、C-9を除く))

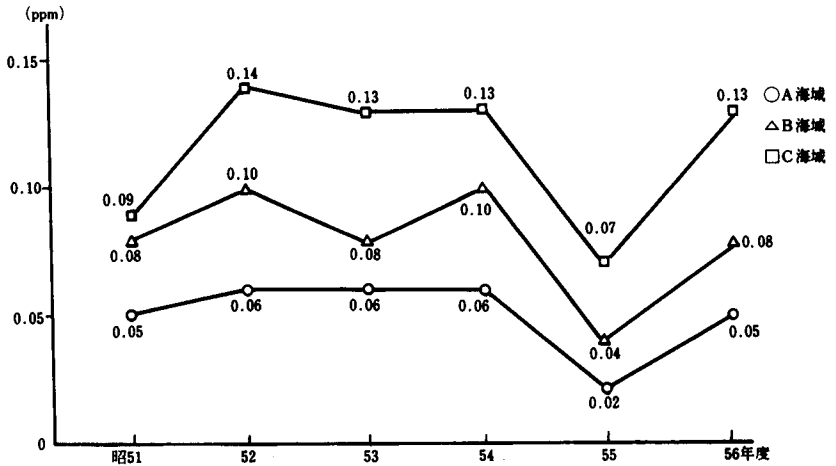


図 2-2-15 大阪湾の総窒素経年変化 (年度平均値)

(環境基準点12地点の表層の値の平均 (C-7、C-8、C-9を除く))

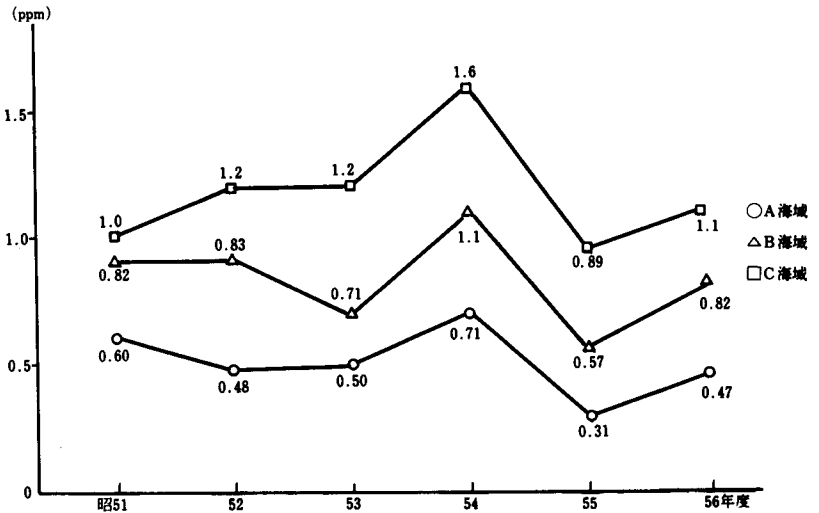


表2-2-19 大阪湾の環境管理計画に定める特殊項目についての調査結果(昭和56年度)

(単位: ppm)

測定地点	フェノール類	銅	亜鉛	鉄 (溶解性)	マンガン (溶解性)	クロム	弗素	陰イオン 活性剤	総窒素	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	総リン	リン酸性リン
C-3 E 135°23'15" N 34°37'46"	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	0.8	0.01	1.5	0.67	0.06	0.13	0.19	0.09
C-4 E 135°23'42" N 34°33'30"	N.D	N.D	0.034	N.D	N.D	N.D	0.9	0.01	0.93	0.32	0.05	0.06	0.10	0.04
C-5 E 135°21'48" N 34°29'30"	N.D	N.D	0.023	N.D	N.D	N.D	0.9	N.D	0.83	0.25	0.04	0.05	0.10	0.03
B-3 E 135°21'06" N 34°35'00"	N.D	N.D	0.031	N.D	N.D	N.D	0.9	0.01	0.87	0.32	0.04	0.06	0.10	0.03
B-4 E 135°21'18" N 34°31'36"	N.D	N.D	0.020	N.D	N.D	N.D	0.9	N.D	0.88	0.36	0.05	0.06	0.09	0.03
B-5 E 135°19'00" N 34°27'48"	N.D	N.D	0.029	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.70	0.14	N.D	0.04	0.06	0.02
A-2 E 135°18'24" N 34°31'42"	N.D	N.D	0.020	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.75	0.31	0.05	0.06	0.07	0.03
A-3 E 135°17'24" N 34°25'48"	N.D	N.D	0.023	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.44	0.13	N.D	0.04	0.06	0.03
A-6 E 135°14'30" N 34°28'18"	N.D	N.D	0.019	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.49	0.09	N.D	N.D	0.05	0.02
A-7 E 135°13'00" N 34°22'24"	N.D	N.D	0.016	N.D	N.D	N.D	1.0	0.01	0.48	0.08	N.D	0.05	0.05	0.02
A-10 E 135°10'30" N 34°25'24"	N.D	N.D	0.023	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.33	0.05	N.D	N.D	0.04	0.02
A-11 E 135°06'48" N 34°20'18"	N.D	N.D	0.021	N.D	N.D	N.D	1.0	N.D	0.32	0.06	N.D	N.D	0.04	0.02
C-7 尾崎港内	N.D	N.D	0.015	N.D	N.D	N.D	0.9	N.D	0.55	0.16	N.D	N.D	0.10	0.06
C-8 淡輪港内	N.D	N.D	0.022	N.D	N.D	N.D	0.9	N.D	0.57	0.08	N.D	0.05	0.05	0.02
C-9 深日港内	N.D	N.D	0.017	N.D	N.D	N.D	0.9	N.D	0.39	0.06	N.D	0.05	0.05	0.03

(単位：ppm)

測定地点	フェノール類	銅	亜鉛	鉄(溶解性)	マンガン(溶解性)	クロム	弗素	陰イオン活性剤	総窒素	アンモニウム窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	総リン	リン酸性リン
O-1 No.5ブイ跡	N.D	0.008	0.023	N.D	0.02	N.D	0.7	—	—	—	—	—	0.22	—
O-2 南港	N.D	0.013	0.036	N.D	0.03	N.D	0.7	—	—	—	—	—	0.23	—
O-3 大阪港関門外	N.D	0.015	0.015	N.D	0.03	N.D	0.7	—	—	—	—	—	0.12	—
O-4 神崎川河口中央	N.D	0.008	0.022	N.D	0.04	N.D	0.7	—	—	—	—	—	0.29	—
O-5 淀川河口中央	N.D	0.005	0.016	N.D	0.04	N.D	0.7	—	—	—	—	—	0.22	—
O-6 木津川河口中央	N.D	0.010	0.037	N.D	0.03	N.D	0.6	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 測定値はいずれも8月及び2月における測定値の平均値である。

2 各項目のN.Dは次のとおりである(単位：ppm)。

- ①フェノール類 0.005未満 ②銅 0.005未満 ③鉄(溶解性) 0.08未満 ④マンガン(溶解性) 0.01未満
 ⑤クロム 0.03未満 ⑥陰イオン活性剤 0.01未満 ⑦亜硝酸性窒素 0.04未満 ⑧硝酸性窒素 0.04未満

表2-2-20 大阪湾の赤潮種数推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
昭51	2	2	5	7	5	7	5	6	6	4	2	3	54
52	2	2	2	4	3	4	4	4	3	3	2	1	34
53	1	2	4	5	6	4	2	4	5	4	0	1	38
54	1	1	2	3	6	7	5	7	2	3	0	1	38
55	0	1	4	4	4	5	9	7	3	2	2	1	42
56	1	2	2	3	4	9	6	5	3	2	0	1	38

(注) 水産庁瀬戸内海漁業調整事務所調べ

第2 底質の状況

大阪湾の底質調査結果をみると、経年的にはいずれの項目についても著しい変化は認められなかった。底質の暫定除去基準値が定められている総水銀及びPCBについては、総水銀が最高1.9 ppm、PCBが最高1.5 ppm 検出されたが、いずれも暫定除去基準値に比べて低濃度であった（表2-2-21）。

表2-2-2-1 大阪湾底質調査結果 (昭和56年度)

測定地点	水素イオン濃度 [pH]	化学的酸素要求量 (COD) (mg/g)	硫化物 (mg/g)	酸化還元電位 (mV)	強熱減量 (%)	総クロム (T-Cr) (ppm)	ノルマルヘキサキサン抽出物質 (mg/g)	シアン (CN) (ppm)	アルキル水銀 (R-Hg) (ppm)	有機リン (Or-P) (ppm)	カドミウム (Cd) (ppm)	鉛 (Pb) (ppm)	ヒ素 (As) (ppm)	総水銀 (T-Hg) (ppm)	PCB (ppm)
C-3	E 135°23'15" N 34°37'46" 8.2 ~8.4	23	0.1	-193	8.8	130	N. D	N. D	N. D	N. D	1.1	41	14	0.79	0.04
C-4	E 135°23'42" N 34°33'30" 8.2 ~8.3	27	0.2	-252	8.1	64	N. D	N. D	N. D	N. D	0.90	37	12	0.48	0.03
C-5	E 135°21'48" N 34°29'30" 8.2 ~8.4	18	0.3	-262	4.9	54	N. D	N. D	N. D	N. D	0.59	19	6.1	0.24	0.02
B-5	E 135°19'00" N 34°27'48" 8.1 ~8.2	36	0.2	-288	9.2	87	N. D	N. D	N. D	N. D	1.5	63	6.8	0.53	0.05
A-3	E 135°17'24" N 34°25'48" 8.1 ~8.2	35	0.1	-273	9.0	88	N. D	N. D	N. D	N. D	1.8	66	8.8	0.76	0.08
A-7	E 135°13'00" N 34°22'24" 8.1 ~8.2	34	0.2	-326	8.7	61	N. D	N. D	N. D	N. D	1.7	64	10	0.74	0.10
O-4	神崎川河口中央 8.0 ~8.1	97	4.6	-373	14	268	6.4	N. D	N. D	N. D	5.7	200	25	1.90	1.50
O-5	淀川河口中央 8.1 ~8.2	22	0.2	-314	5.4	85	0.6	N. D	N. D	N. D	1.9	45	11	0.80	0.99
O-7	大和川河口中央 8.0 ~8.2	44	1.0	-315	8.9	160	2.2	N. D	N. D	N. D	1.5	41	10	0.46	0.11

(注) N. D.についてノルマルヘキサキサン抽出物質は0.5ppm未満、シアンは0.1ppm未満、アルキル水銀は0.01ppm未満、有機リンは0.1ppm未満である。